

## 19. 掩体壕群



- 正式には「飛行用掩体」と呼ぶ。
- 太平洋戦争末期、アメリカ軍による茂原海軍航空基地への攻撃が激しくなっていく中で、基地の北側に戦闘機を保護し耐弾性に優れた格納施設が作られた。戦時中につくられたものは20数基を数えるが、現存するものは、そのうち10基である。
- 現在茂原市は、掩体壕が全国的に多く残されている地域として注目されている。